



- ◇「札幌の成果と課題」を踏まえ、以下の3点を重視して学校での学びを改善していく必要がある。
- 子どもが、**学ぶことの意義や楽しさ**を感じ取り、**自ら学び続けようとする意欲**をもつこと
- 子どもが、自ら考えたり表現したりするなどの**多様な学びを経験し、思考力・判断力・表現力等を身に付けること**
- 子どもが、学び続けるための**基礎的・基本的な知識や技能を身に付け、新たな学びに自信をもって挑戦**していけるようになること

◇学校での学びの質を高め、家庭と一体となって「学ぶ力」を育むことを目指して「さっぽろっ子『学ぶ力』の育成プラン」を実施する。

平成30年度 さっぽろっ子「学ぶ力」の育成プラン

「札幌市教育振興基本計画」(H26年度～)に位置付けて推進



◆分かる・できる・楽しい授業づくりの充実

「子どもが自ら考え、判断し、表現する学習活動」の充実

- 自ら疑問や課題をもち、主体的に解決する**課題探究的な学習**を取り入れた授業の工夫改善を図る。
- *「6つのセルフチェック」の活用による授業づくりの充実
- *小学校5・6年生算数における少人数指導「算数にーごープロジェクト」の実施

学ぶ意欲の向上

知識の理解の質を高め、**資質・能力を育む**
「**主体的・対話的で深い学び**」
*言語活動や体験的な活動等の充実

「自分への自信をもたせるきめ細かい指導」の充実

- 基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図り、子どもが分かる・できる喜びを実感できるよう、**個に応じた指導の充実**を図る。
- *生きて働く知識・技能の習得に向け、知識・技能の活用場面を位置付けた授業の充実
- *一人一人のよさや伸びを認める指導と評価の一層の充実

5つのポイント

- 1 難しいことにも挑戦する意欲を伸ばします。
- 2 「自ら学ぶ方法」と「人と学び合う方法」を身に付けられるようになります。
- 3 意味理解を伴った知識の習得と、知識を使いこなす力を伸ばします。
- 4 自分の「伸び」を実感して、新たな目標をもてるようになります。
- 5 生活を自らコントロールする力を育みます。

教員の指導力向上に向けた施策

各学校が「学ぶ力」育成プログラムを改訂し実行
○各学校が、自校の児童生徒の「学ぶ力」の実現状況を踏まえて、指導方法等の課題を明確化し、**改善に向けて作成したプログラムの改訂、実行**に取り組む。(教育課程等への位置付け、指導方法の改善など)

具体的な改善策について教育委員会が支援

札幌市教育センターにおける教員研修
○授業づくりに関する**研修の充実**
・実効性の高い研修の充実
・指導資料等の積極的な活用

札幌市教育研究推進事業
○分かる・できる・楽しい授業に関する**研究の推進**
○新学習指導要領の実施に向けた**研究の推進**
・教職員の協働による授業づくりに関する実践的研究の推進
・研究・研修の成果の発信
・校内研修支援

教育課程研究協議会・説明会等
○分かる・できる・楽しい授業の**在り方を協議**
○新学習指導要領の実施を見据えた教育課程の**在り方について協議**
・新学習指導要領に関する情報や実践事例の共有

札幌市研究開発事業
○指導方法等の**モデル事例開発**
・研究推進校によるモデル事例の開発
・事例の共有と活用に向けた成果発信

◆学校、家庭が一体となった「習慣づくり」「環境づくり」の推進

学校・家庭・地域との連携強化

- 家庭、地域への**情報発信の充実**
※「**社会に開かれた教育課程**」の理念に基づき、家庭や地域との共通理解のもとで「学ぶ力」の育成に向けた取組を推進
- ・リーフレット**さっぽろっ子「学び」のススメ**の配布と活用
学校、家庭が一体となった子どもへの働きかけ等について
- ・札幌市PTA協議会をはじめとする関係機関との連携



校長会との連携強化

- 双方向**による「学ぶ力」の育成
※校長会との多様な機会における双方向の連携を強化
- ・「学ぶ力」の育成に向けた協議
- ・各区の教務主任会・ミドルリーダー研修会への**指導主事の派遣**
- ・各学校の研修会等の充実
- (その他)・ICTの活用、学生ボランティアの活用などの環境整備

◆校種間・学校間の連携による教育活動の充実

- 指導内容の連続性や系統性を重視した教育課程の工夫改善
- 授業交流や合同研修会、「学ぶ力」育成プログラム等を活用した情報交換
- 学ぶ意欲や自己肯定感の向上に向けた**異校種体験**や交流

子どもの自己評価を生かした「学ぶ力」の評価と指導の改善 ～20の指標～

○教育施策や教育指導の改善に反映するため、**札幌市全体の共通指標を設定**し、子どもの学習状況等を把握するとともに、分析する。

検証改善サイクルの確立

評価

改善

検証改善

子どもの学力の現状と「札幌の成果と課題」

国際的な学力調査から明らかとなっている日本の子どもの学力状況も踏まえつつ、全国学力・学習状況調査結果や札幌市学習実現状況調査等の各種調査結果を総合的に分析し、札幌市の子どもの「学ぶ力」について、「**札幌の成果と課題**」をまとめました。

■国際比較による日本の子どもの学力■

TIMSS2015

国際数学・理科教育動向調査

小4、中2が対象
算数・数学、理科の
知識・技能の習得状況

【小学校】算数5位(49か国中)、理科3位(47か国中)
【中学校】数学5位(39か国中)、理科2位(39か国中)

「比較できる範囲で最も良好な結果であり、国際的にも引き続き上位に位置している。習熟度の高い児童生徒の割合は、前回調査に比べ増加しているが、他の上位国・地域と比べると、その割合は低い傾向。」

「算数・数学、理科について楽しいと思う児童生徒の割合が増加したり、『日常生活に役立つ』『将来、自分が望む仕事につくために、良い成績をとる必要がある』という生徒の割合が増加。」(文部科学省資料より抜粋)

PISA

OECD生徒の
学習到達度調査

15歳が対象。義務教育修了段階で身に付けた知識や技能を実生活の様々な場面でどの程度活用できるか。

■数学的リテラシー

様々な文脈の中で数学的に定式化し、数学を活用し、解釈する個人の能力

2012年 7位(65か国・地域中) 2015年 5位(72か国・地域中)

■科学的リテラシー

科学的な考えを持ち、科学に関連する諸問題に関与する能力

2012年 4位(65か国・地域中) 2015年 2位(72か国・地域中)

■読解力

自らの目標を達成し、知識と可能性を発達させ、社会に参加するために、書かれたテキストを理解し、利用し、熟考し、これに取り組むこと

2012年 4位(65か国・地域中) 2015年 8位(72か国・地域中)

○各分野とも、日本は引き続き平均得点が高い上位グループに位置。

○自分の将来に理科の学習が役に立つと感じている生徒の割合が2006年に比べ増加。

「読解力については、コンピュータ使用型調査に対する生徒の戸惑いや、次期学習指導要領に向けた検討過程において指摘された課題が本調査で明らかになった。」(文部科学省資料より抜粋)

■札幌の子どもの学力■

平成29年度全国学力・学習状況調査

小6、中3が対象(H29年4月実施)
国語、算数・数学の
「知識に関する問題(A問題)」
「活用に関する問題(B問題)」

札幌市学習実現状況調査

小5、中2が対象(H27年2月実施)
小5では社会、中2では英語・社会について「基礎に関する問題」と「応用に関する問題」

【小学校】 ⇒国語、算数の問題A、Bいずれも、
全国平均正答率と「ほぼ同程度」
【中学校】 ⇒国語、数学の問題A、Bいずれも、
全国平均正答率と「ほぼ同程度」

※「ほぼ同程度」は、全国の平均正答率と比較して±3ポイントの範囲内。

【小学校】社会…期待される正答率(設定通過率)を下回っている。
【中学校】社会…期待される正答率(設定通過率)と「ほぼ同程度」
英語…期待される正答率(設定通過率)と「ほぼ同程度」

- ◆知識・技能の定着については、小学校国語(漢字を正しく書くことなど)、算数(小数の計算など)に**継続的な課題**。
- ◆「活用」に関しては、中学校で全国平均正答率を上回る設問が見られる。一方で、「**自分の考えを書くこと**」や「**判断の理由や解決の方法を説明すること**」などの設問で、全国と同様に無解答率が高く、**小・中学校ともに課題**。

※「下回る」は、全国の平均正答率と比較して3.1ポイント以上、下回る状況。
※「上回る」は、全国の平均正答率と比較して3.1ポイント以上、上回る状況。

■札幌の子どもの学習習慣と学習意欲■

平成29年度全国学力・学習状況調査

■読書が好きなお子どもの割合は、**全国と比べ高い状況**であり、平成19年度の調査開始以来、**最も高い数値**となっている。※()内は全国平均
H19年度:小72.0%(71.3%) 中66.5%(67.9%)
H29年度:小77.5%(74.3%) 中76.4%(69.9%)

■難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している子どもの割合は、**全国と比べてやや低い状況**ではあるが、**上昇傾向**にある。※()内は全国平均
H19年度:小69.8%(72.3%) 中62.7%(62.0%)
H29年度:小74.2%(77.4%) 中68.8%(71.0%)

■将来の夢や目標をもっている子どもの割合は、**全国と比べやや低い**状況ではあるが、今年度、**改善の兆し**が見られた。※()内は全国平均
H19年度:小81.5%(83.7%) 中69.2%(70.7%)
H29年度:小84.3%(85.9%) 中68.9%(70.5%)

札幌市児童生徒の実態に関する基礎調査

■H26年度の調査では、家庭での学習時間は、小・中学校ともに、「ほとんどしない」と回答した割合が過去調査(H23年度)に比べ減少しているが、「15分以内」「ほとんどしない」と回答している子どもの割合が小学生(小5)15.7%、中学生(中2)26.7%となっている。

◆家庭での学習習慣については、**意欲の向上は見られるものの、継続的な課題**となっている。

★札幌の成果と課題★

- 読書への意欲向上に成果。また、学習習慣の確立や自ら学ぼうとする学習意欲に向上は見られるものの**継続的な課題**。
- 思考力・判断力・表現力等に、課題探究的な学習等の成果も見られるが、知識・技能ほど十分に身に付いているとは言えない。
- 知識・技能は、概ね身に付いているが、**小学校の教科領域の一部に継続的な課題**も見られる。

学習などについてのアンケート(札幌市全体の共通指標)の結果

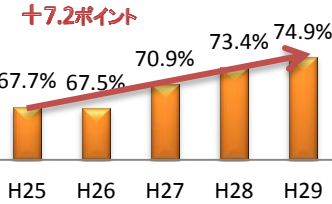
平成25年度から実施している「学習などについてのアンケート」では、平成28年度に比べ、平成29年度は、**中学校では全ての質問、小学校でもほとんどの質問について、肯定的な回答の割合が高くなっており、5年間の経年変化を見ても、小中学校ともに全ての項目で伸びが見られています。**

右のグラフの通り、小中学校ともに、「**意見の違う人とも、よく話し合おうとしている**」の項目において、肯定的な回答の増加が顕著に見られました。また、小学校では「**人の意見を聞いて、それを参考にして自分の考えを見直すことがよくある**」、中学校では「**授業中、自分で疑問やめあてをもって学習に取り組もうとしている**」「**意見を書くときには、その理由をはっきりさせて書くようにしている**」や「**分からないことはそのままにせず、分かるまで努力するようにしている**」等の項目において、前年度と比較して肯定的な回答の割合が特に高くなっており、札幌市において**課題探究的な学習**を推進し、授業で言語活動の充実が図られた結果、**自ら課題をもち、互いに考えを伝え合いながら思考・判断し、課題を解決しようとする児童生徒が増えてきている**ことがうかがえます。

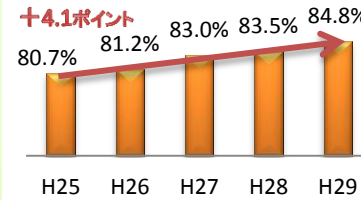
「**普段から計画を立てて勉強している**」「**授業中、自分の意見を進んで発言している**」と回答する割合は高くなってきていますが、**より一層の表現力の向上を目指して言語活動の充実を図り、学ぶ意欲を高める授業改善を進めるとともに、学校以外の場においても「自ら学ぶ」方法を身に付けられるよう、学校と家庭が連携して学習習慣づくりを進めることが課題**となっています。

小学校

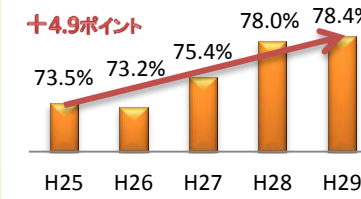
■4 意見の違う人とも、よく話し合おうとしている。



■14 人の意見を聞いて、それを参考にして自分の考えを見直すことがよくある。

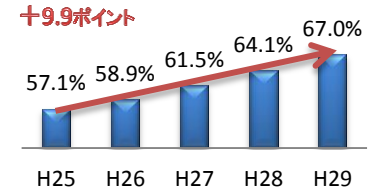


■10 意見を書くときには、その理由をはっきりさせて書くようにしている。

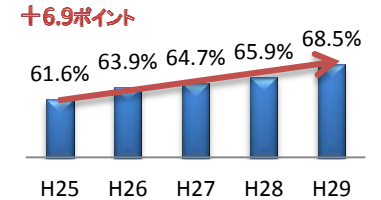


中学校

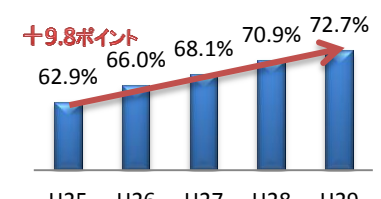
■4 意見の違う人とも、よく話し合おうとしている。



■1 授業中、自分で疑問やめあてをもって学習に取り組もうとしている。



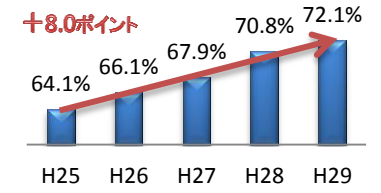
■10 意見を書くときには、その理由をはっきりさせて書くようにしている。



◆平成29年度「学ぶ力」の育成推進協議会より

- ・子どもが自己決定できる力を伸ばすことが将来の伸びにつながる。
- ・目標をもったときに子どもは変わる。授業の最初に目標や学習課題を子ども自身が把握できるようにし、今学習していることの意味を理解できるようにすることで自ら学びたくなるような授業に。
- ・目標に対する途中の達成度や振り返りを重視し、小さな課題をクリアする達成感や成功体験を感じさせることも大切。
- ・授業では互いの考えを摺り合わせ、解決に近付くための試行をすることが必要。
- ・小中9年間で付けたい力を明確にする。

■9 分からないことは、そのままにせず、分かるまで努力するようにしている。



成果

課題

質問	肯定的な回答の割合								
	小学校				中学校				
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
1 授業中、自分で疑問やめあてをもって学習に取り組もうとしている。	77.3%	76.5%	78.8%	79.8%	80.6%	61.6%	63.9%	64.7%	68.5%
2 分からないことは、自分で調べてはっきりさせようとしている。	73.5%	73.5%	74.4%	75.8%	76.6%	67.2%	69.7%	71.9%	74.8%
3 勉強していて、おもしろい、楽しいと思うことがよくある。	84.6%	84.6%	85.6%	87.4%	86.8%	62.4%	64.2%	65.2%	68.0%
4 意見の違う人とも、よく話し合おうとしている。	67.7%	67.5%	70.9%	73.4%	74.9%	57.1%	58.9%	61.5%	67.0%
5 今の自分にとって、どのように勉強するのがよいか分かっている。	76.5%	75.6%	78.4%	79.2%	79.0%	59.3%	60.8%	60.8%	62.1%
6 勉強で同じ間違いをくり返さないように気をつけている。	86.6%	87.1%	88.0%	88.6%	89.4%	79.5%	81.6%	82.7%	84.5%
7 新しく習ったことは、くり返し練習をしている。	64.9%	63.1%	66.2%	68.0%	68.3%	46.0%	47.9%	48.4%	52.7%
8 普段から、計画を立てて勉強している。	55.8%	54.7%	56.3%	57.7%	59.1%	30.1%	32.8%	32.6%	33.0%
9 分からないことは、そのままにせず、分かるまで努力するようにしている。	75.1%	74.3%	77.3%	78.9%	79.1%	64.1%	66.1%	67.9%	72.1%
10 意見を書くときには、その理由をはっきりさせて書くようにしている。	73.5%	73.2%	75.4%	78.0%	78.4%	62.9%	66.0%	68.1%	70.9%
11 意見を発言する前に、自分の考えがうまく伝わるように、話の内容や順序を考えている。	68.6%	68.6%	70.4%	71.7%	72.0%	61.0%	63.0%	65.3%	67.8%
12 授業中、自分の意見を進んで発言している。	56.2%	54.2%	57.0%	58.4%	58.8%	35.6%	36.8%	37.4%	38.5%
13 授業中、友達や先生の説明、意見を終わりで聞いている。	84.8%	85.7%	87.5%	88.9%	89.4%	81.3%	82.9%	84.3%	88.3%
14 人の意見を聞いて、それを参考にして自分の考えを見直すことがよくある。	80.7%	81.2%	83.0%	83.5%	84.8%	75.9%	78.4%	80.0%	82.5%
15 習ったことや知っていることを使って、自分で考えることが大事だと思う。	88.6%	88.3%	90.1%	90.1%	90.6%	85.8%	86.8%	88.1%	88.7%
16 学校で好きな授業がある。	96.2%	95.9%	96.2%	96.8%	96.6%	87.7%	86.9%	86.3%	88.0%
17 授業中に分からないことがあったときに、友達や先生に聞くようにしている。	82.2%	81.0%	82.7%	83.9%	84.4%	74.0%	74.9%	76.6%	79.5%
18 困ったとき、悩みがあるときは、人に相談するようにしている。	73.5%	72.9%	75.2%	75.4%	76.6%	66.4%	66.8%	67.9%	70.5%
19 外国の人と交流する機会をもちたいと思う。(話をしたり、一緒に何かの活動をしたりするなど)	80.7%	78.5%	80.2%	80.9%	79.9%	62.6%	62.8%	63.6%	63.2%
20 札幌には、好きな場所やものがある。(自然、建物、イベント、歴史、文化など)	90.8%	89.4%	89.6%	90.7%	91.3%	84.3%	83.8%	83.8%	84.5%